

札幌市下水道事業中期経営プラン 2020 実施報告書（説明資料）

令和 2 年度は、プランの最終年度であることから、5 年間の取組結果について、以下のとおり概要を報告します。

1 主要施策の展開（実施報告書 P. 2～11）

管路・処理施設の維持管理及び再構築、下水道施設の災害対策の推進など、予定していた事業を着実に実施し、施策ごとに定めた合計 13 の指標について、概ね目標を達成しました。

なお、目標を達成できなかった事業（管路の改築、圧送管バックアップシステムの構築、放流水質の改善、下水道エネルギーの有効利用）については、プラン 2025において、引き続き実施していきます。

2 健全で安定した経営への取組（実施報告書 P. 12～16）

（1） 経営基盤の強化

施設の延命化によるトータルコストの縮減に努めるとともに、水再生プラザの運転管理業務を民間に委託しました。

（2） 中期財政見通し

計画期間の最終年度となる令和 2 年度末の累積資金残高は、維持管理費や企業債の支払利息の減少などにより、資金収支が好転した結果、当初の見込みと比較して好転しました。

3 下水道サービスの向上（実施報告書 P. 17～18）

（1） 「情報提供」による市民理解の促進

下水道の役割などを学んでもらう機会とするため、下水道科学館や下水道事業パネル展等の広報イベントを実施するなど、下水道に対する理解を深めもらうための情報発信に努めました。

（2） 「市民参加」によるニーズの把握

広報イベントなどを活用したアンケート調査などを実施し、下水道事業の運営に対する市民ニーズの把握に努めました。

今後も、「札幌市下水道事業中期経営プラン 2025」に基づき、効率的な事業執行や健全な財政運営に努め、将来にわたり良好な下水道サービスを提供していきます。

なお、プラン 2025 の計画期間では、財務体質の強化に向けて、適正な受益者負担の具体的な検討を進めることとしており、今後の事業運営の参考とするため、下水道事業に関する市民意識調査を令和 4 年 7 月頃に実施する予定です。